

漫才を作ってみよう

「ハンバーガーショップでアルバイト」

ボ・ツ：どーも～

ツ：コンビニ名 です。お願いします。

ボ：いやしかしお金がないねえ

ツ：いきなり悲しい事言うね。

ボ：お金なさ過ぎて、

ツ：

ボ：だから今度、ハンバーガーショップでアルバイトしようと思って。

ツ：アルバイトはいいけど、ほんとに出来るの？

ボ：余裕で出来るよ。

ツ：じゃあお客さんやるから、店員さんやってみて。

ボ：わかりました。

ツ：お腹減ったからハンバーガーでも食べるか。ウィーン。(自動ドア)

ボ：

ツ：

ボ・ツ：どーも、ありがとうございました。

漫才を作ってみよう（見本）

「ハンバーガーショップでアルバイト」

ボ・ツ：どーも～

ツ：コンビニ名 **エレファントジョン** です。お願いします。

ボ：いやしかしお金がないねえ。

ツ：いきなり悲しい事言うね。

ボ：お金なさ過ぎて、この前金落ちてないかな～って下向いて歩いてたら、いつの間にか埼玉にいたんだよ。

ツ：どんだけ歩いてんだよ！時間の無駄過ぎるだろ。

ボ：だから今度、ハンバーガーショップでアルバイトしようと思って。

ツ：アルバイトはいいけどほんとに出来るの？

ボ：余裕で出来るよ。

ツ：じゃあお客さんやるから、店員さんやってみて。

ボ：わかりました。

ツ：お腹減ったからハンバーガーでも食べるか。ウィーン。(自動ドア)

ボ：てりやきバーガーセットでよろしいですか？

ツ：まだ何も言ってない！入っただけ！

ボ：よろしければ一緒に、働きませんか？

ツ：勧誘するな！もういいよ！

ボ・ツ：どーも、ありがとうございました。